完了報告書

報告日付：2023年4月15日

事業ID：2022003762

事業名：埼玉県さいたま市における「子ども第三の居場所」（B）

コミュニティモデルの運営と車両整備（2年目）

団体名：特定非営利活動法人　さいたまユースサポートネット

事業完了日：2023年4月30日

１．事業内容

「子ども第三の居場所」コミュニティモデル（B）の運営

　（1）期間：2022年4月1日～2023年4月30日（週3日15時～18時）

　（2）場所：さいたま市見沼区

　（3）対象：1日あたりの利用　子ども15名（登録児童数　132名）

　（4）内容：子どもが安心して過ごせる居場所として、自己肯定感、人や社会と関わる力、学習習慣を育む場を提供した。送迎が難しい子どもの支援や困難を抱える子どもの保護者の相談窓口としても機能していった。

２．事業内容の詳細

不登校や特別支援学級の生徒などが地域の子どもたちと交流を図ることが出来る居場所として、毎週開所した。芋掘りなどの畑体験や空手の体験プログラムなども行い、子ども達に不足している体験活動を提供することも出来るようになってきた。学校での面談等を予定している子どもの保護者から相談を受けたり、学習が停滞してしまっている子どもに向けて、スモールステップでの学習支援を行ったりしていった。団体として地域のSSWやSCとも繋がりがあり、利用に繋げたい子どもについての連絡が毎週くるようになってきた。

３．契約時事業目標の達成状況

【助成契約書記載の目標】

1．小学生を中心に15名以上の継続利用

2．学年を越え子ども同士で交流できる環境を作り、創造性を育み既存の遊びばかりでなく協力して自ら遊びを創り出せる状況にする。

3．カフェ、スクール事業2年目としてそれぞれの利用者が第三の居場所の理念に共感し、取り組みにボランティアとして参画してもらえる状況にする。

4．地域の住民、自治会、企業との連携を図り、交流イベント（お花見・夏祭り・お月見・餅つきなど）を企画・実施し多様な人との関わり方、自己肯定感の向上を図る。

5．利用する子どもの保護者の相談窓口（子育て・生活について等各種相談）を実施できる状況にする。

【目標の達成状況】

1．曜日により参加人数にバラつきはあるが、小学校低学年を中心に15名前後の参加を促すことが出来てきた。

2．子ども同士の交流も見られるようになり、学校とは異なった関係性が構築出来ている。困難を抱える子どもの交流には、スタッフやボランティアが間に入ることで、居場所を安心して利用できる環境を心掛けている。居場所を使ったプログラムは、こちらが主導で遊びを誘導するものと子ども達が自ら創り出せるものを交互に提供することで、創造性を育む遊びとルールを守る遊びを楽しめるようにしている。

3．カフェを利用している地域の方が、ボランティアとして参加して下さるなどの繋がりが出てきた。また貸しスペースを利用している方々からの卓球ボールの寄付や団体と繋がりのある方から雛人形の寄付があった。今後も地域との繋がりを大事に居場所の運営をしていく。

4．地域の住民や自治会との連携は、今後の課題になる。もっと地域との繋がりを強化して多世代が子どもに関われる居場所にしていく。

季節のイベントの開催数は少なかったが、支援金を使った子ども食堂のクリスマス会やハロウィンイベント、芋掘り、ひなまつりの絵本の読み聞かせと歌などを行った。子ども食堂はメディアにも注目され、テレビ埼玉で放映された。

5．困難を抱える子どもの保護者には、定期的に連絡を居れ、近況を確認するようにしている。学校での様子や生活での課題、保護者の就労に関しても、団体内の別事業に繋げ、支援を行っている。